

妙正寺川整備工事（その204） 工事説明会

日時：令和7年3月14日（金）
18:00～20:00
令和7年3月15日（土）
14:00～16:00

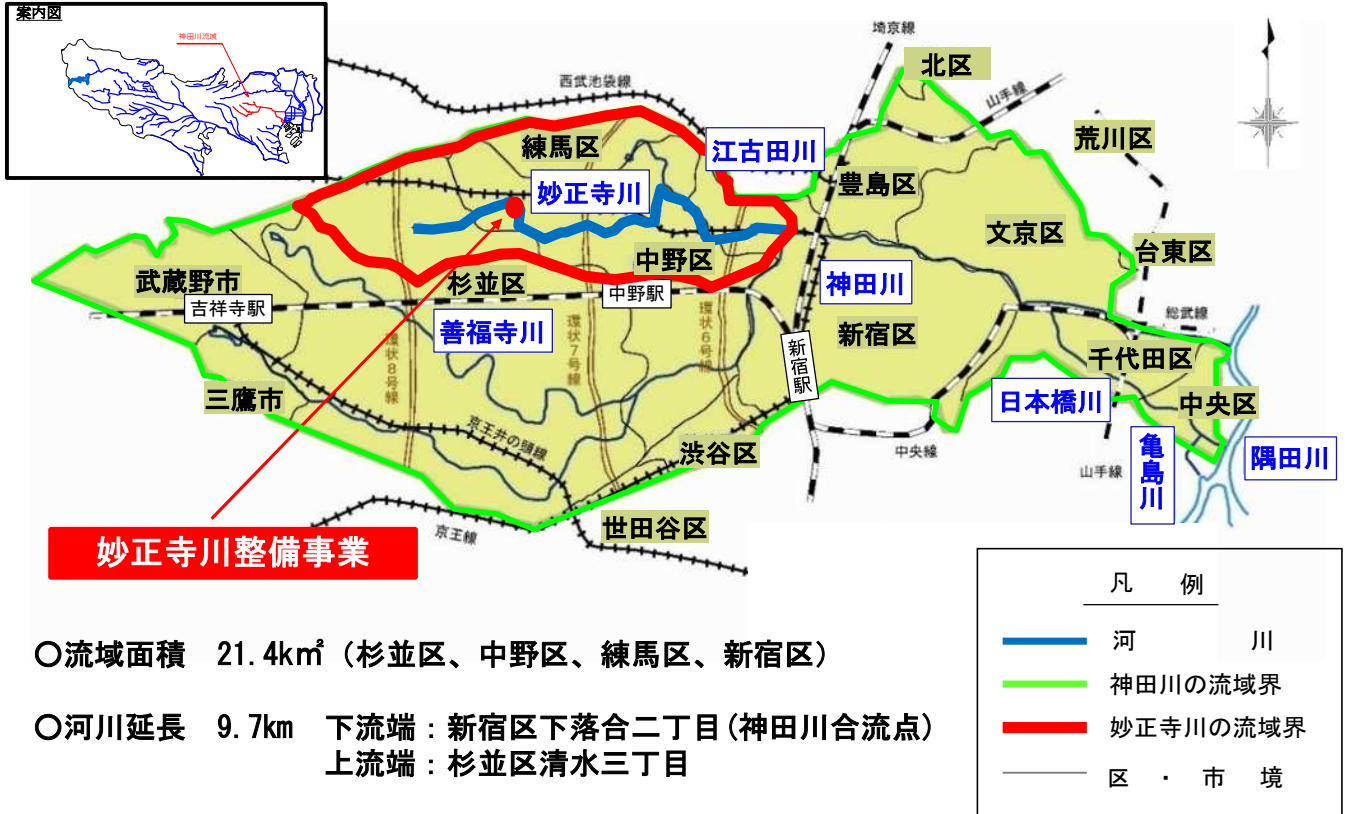
会場：中野区立鷺宮区民活動センター

東京都第三建設事務所
大豊建設株式会社

資料目次

- ・ 妙正寺川整備事業の概要 P. 1～6
- ・ 妙正寺川整備工事（その204） P. 7～24
- ・ お問い合わせ先 P. 25

妙正寺川の概要



P. 1

妙正寺川における過去の代表的な水害

平成17年9月の豪雨

妙正寺川、善福寺川上流部を中心に、9月4日夕方から5日未明にかけて時間最大100mm以上の激しい雨が降り、杉並区、中野区、新宿区で浸水家屋3,000戸以上の甚大な被害が発生。

- ・総雨量 : 263mm (下井草観測所・杉並区)
- ・時間最大雨量: 112mm/h (下井草観測所・杉並区)

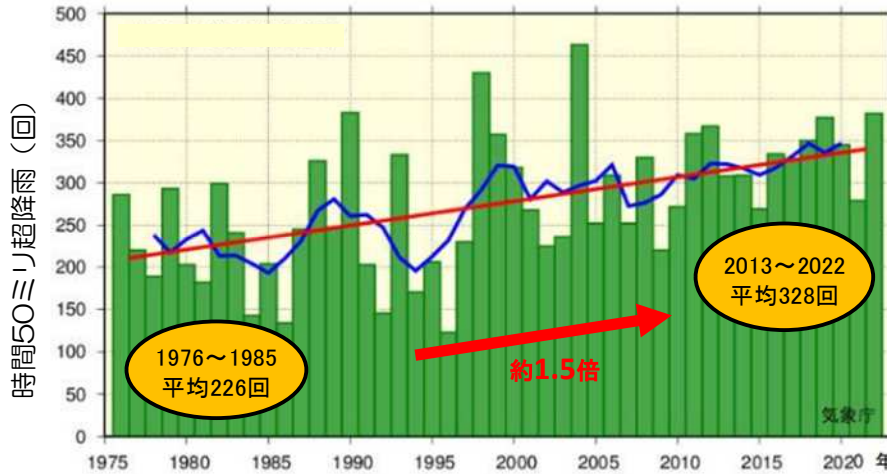


写真: 妙正寺川 北原橋(今回工事箇所から約5.3km下流)

P. 2

近年の降雨状況の変化

■ 1時間に50ミリを超える降雨の回数

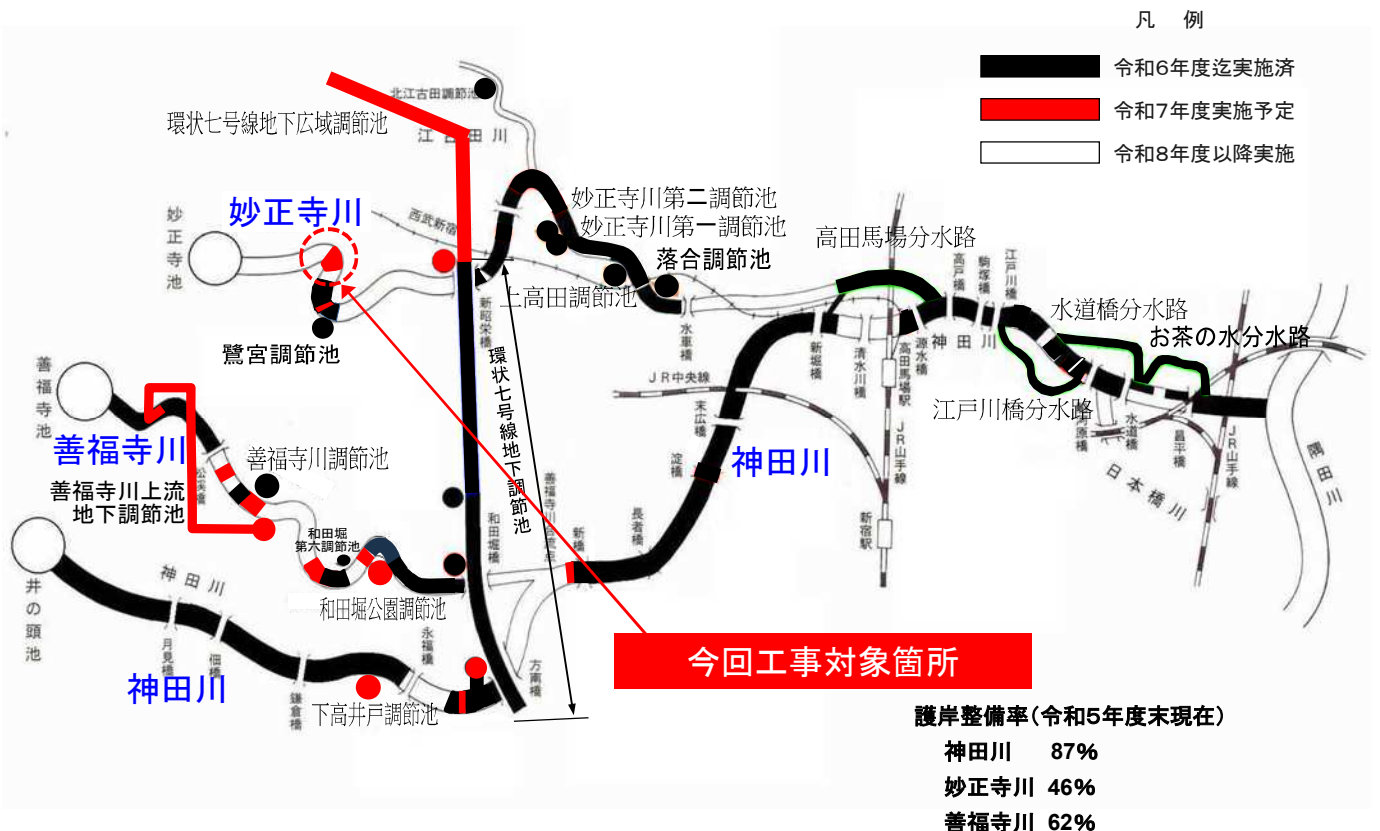


棒グラフ(緑)は各年の年間発生回数、折れ線(青)は5年移動平均値、直線(赤)は長期変化傾向を示す
データ出典: 気象庁 HP「大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化」

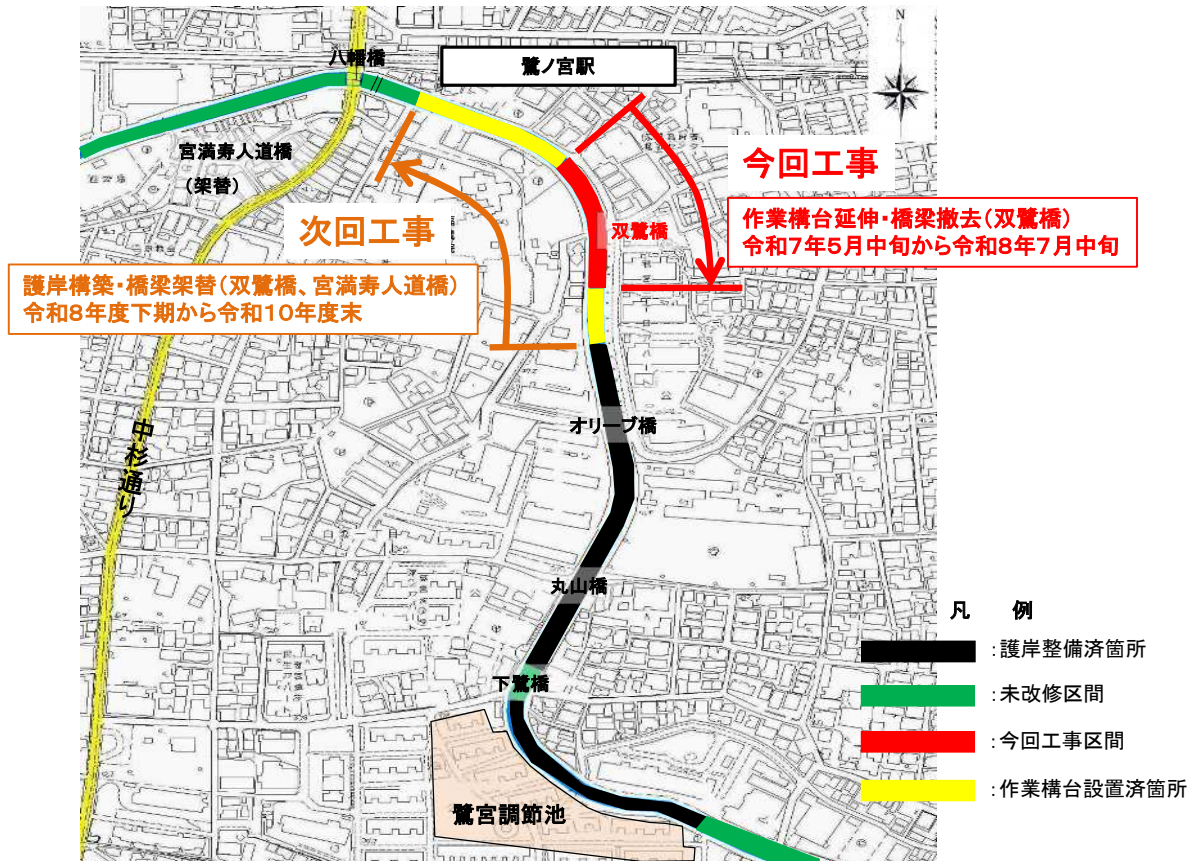
今後も、1時間に50ミリを超える降雨(台風や雷雨性の局地的集中豪雨)の増加が予測され、水害リスクは益々高まっていく

降雨状況の変化への対応が急務

神田川流域の改修状況



妙正寺川 河川整備状況（オリーブ橋上流～八幡橋下流）



P. 5

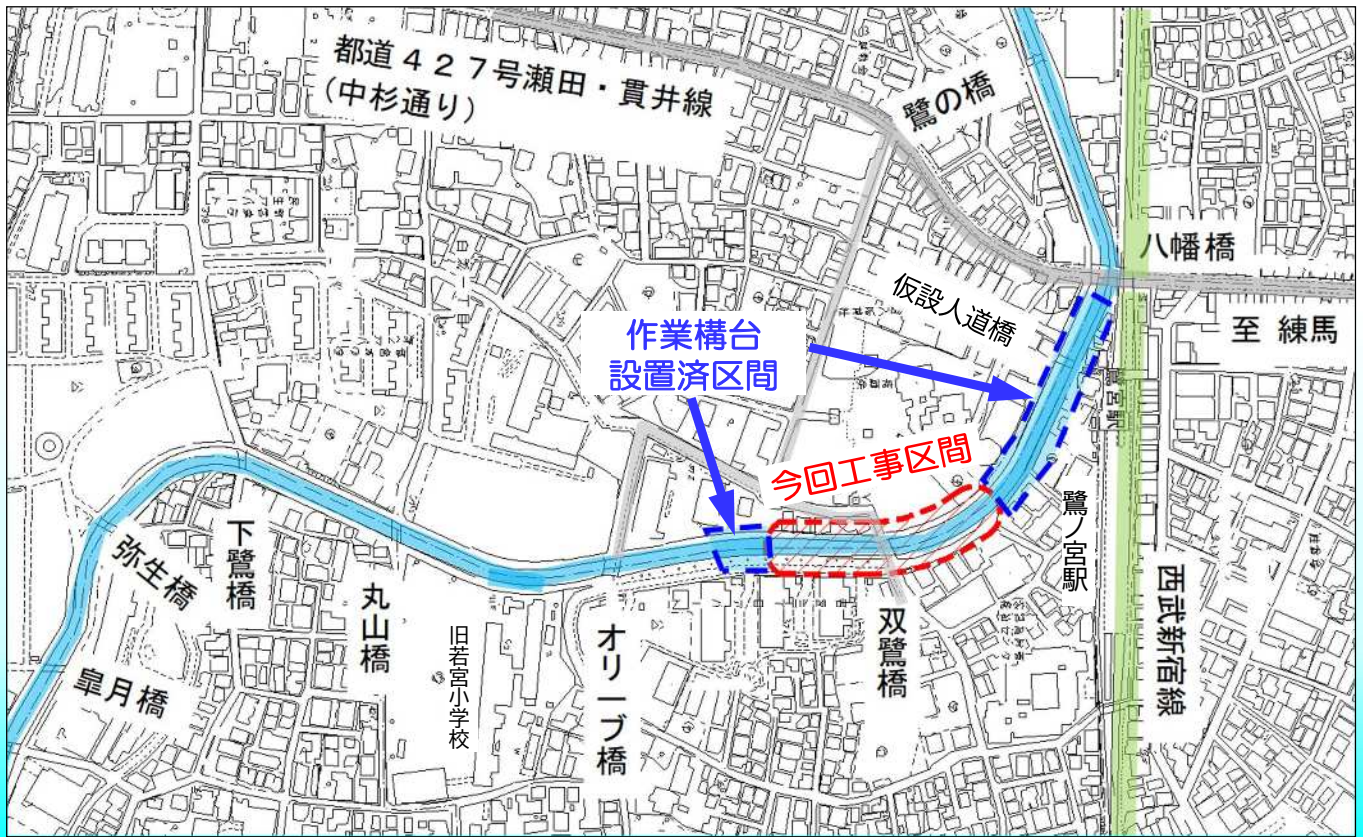
事業スケジュール（予定）について

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
工事箇所							
搬入路整備工事 (八幡橋下流)	搬入路設置						
双鷺橋上流 ～ 宮満寿人道橋上流		作業構台設置		今回工事	次回工事		
オリーブ橋上流 ～ 双鷺橋上流				作業構台設置			
オリーブ橋上流 ～ 八幡橋下流						護岸構築・橋梁架替	
宮満寿人道橋 通行止め (仮設人道橋設置)		通行止め					
双鷺橋 通行止め				通行止め			

※ このスケジュールは、現時点での予定であり、予算等の都合により変更する場合があります。また、工事の施工手順によって、期間及び時期が前後する可能性があります。

P. 6

工事範囲



P. 7

全体工程表

工事期間

自 令和 7年 3月 下旬
至 令和 8年 7月 下旬(予定)

施工時間

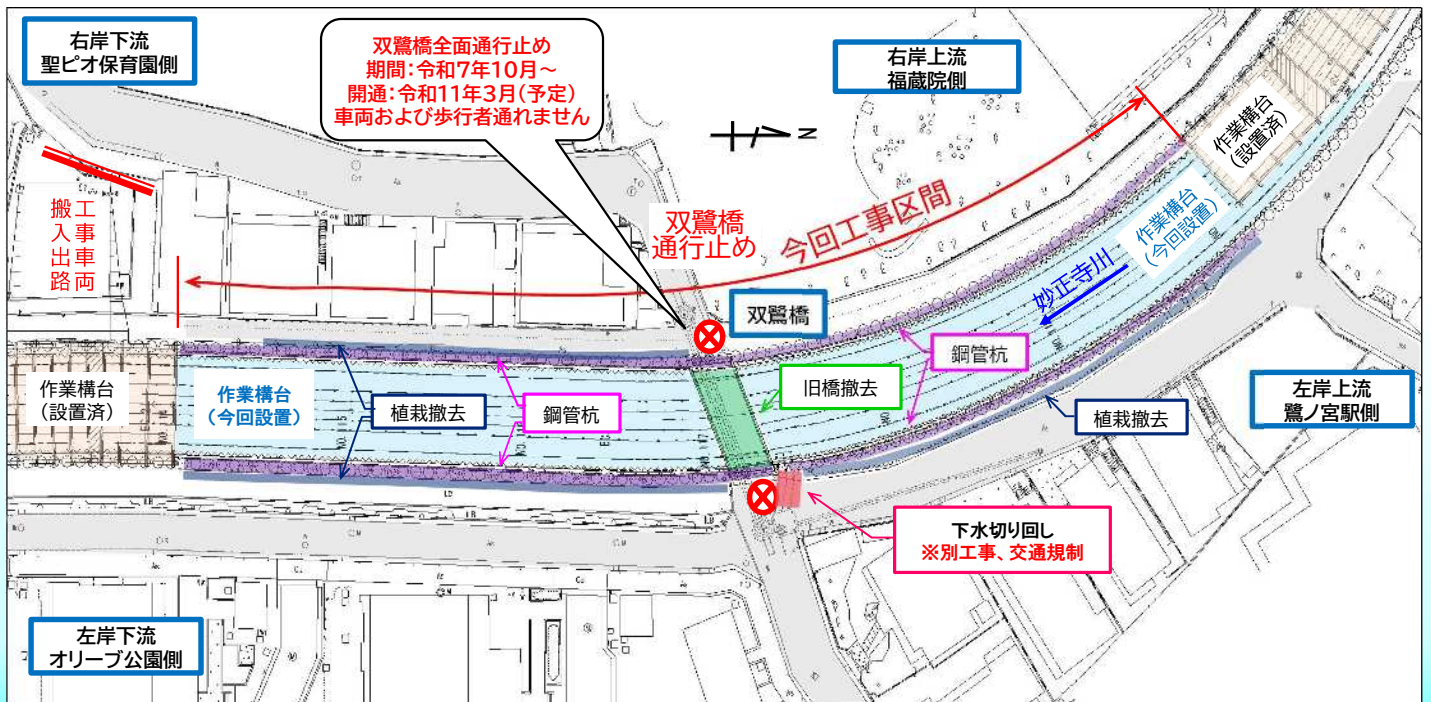
午前8:00 ~ 午後6:00

土曜・日曜日・祝日は原則作業を行いません。
ただし、工程により土曜・祝日に施工を行う場合があります。

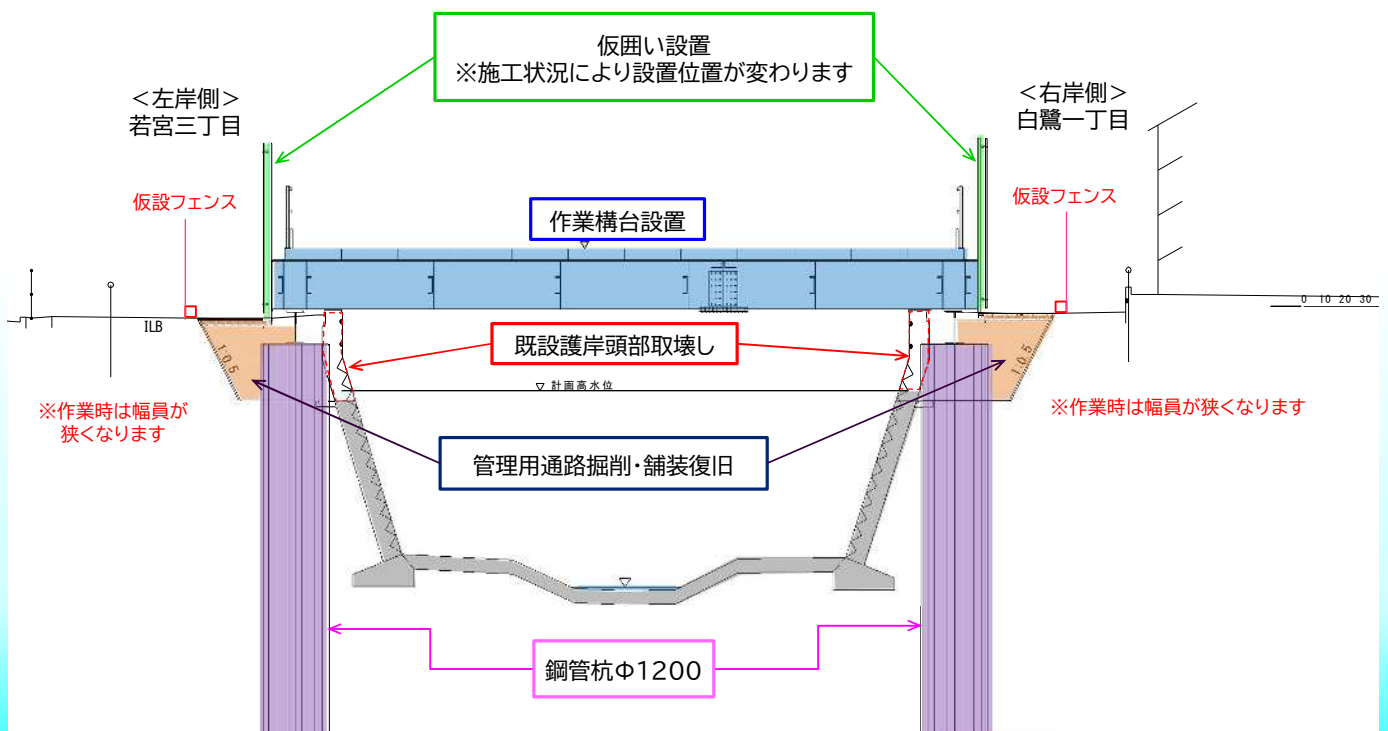
工事工程表	2025年(令和7年)												2026年(令和8年)					
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
準備工・片付工	← 家屋調査 →																	
河川土工・既設護岸取壊し																		
鋼管杭圧入工																		
作業構台仮設																		
歩道復旧																		
双鷺橋																		
旧橋撤去工(および河川土工)																		
排水構造物工(下水道管移設)																		
(交河通川規沿制い期) 右岸上流																		
双鷺橋																		
双鷺橋下流																		

P. 8

全体平面図



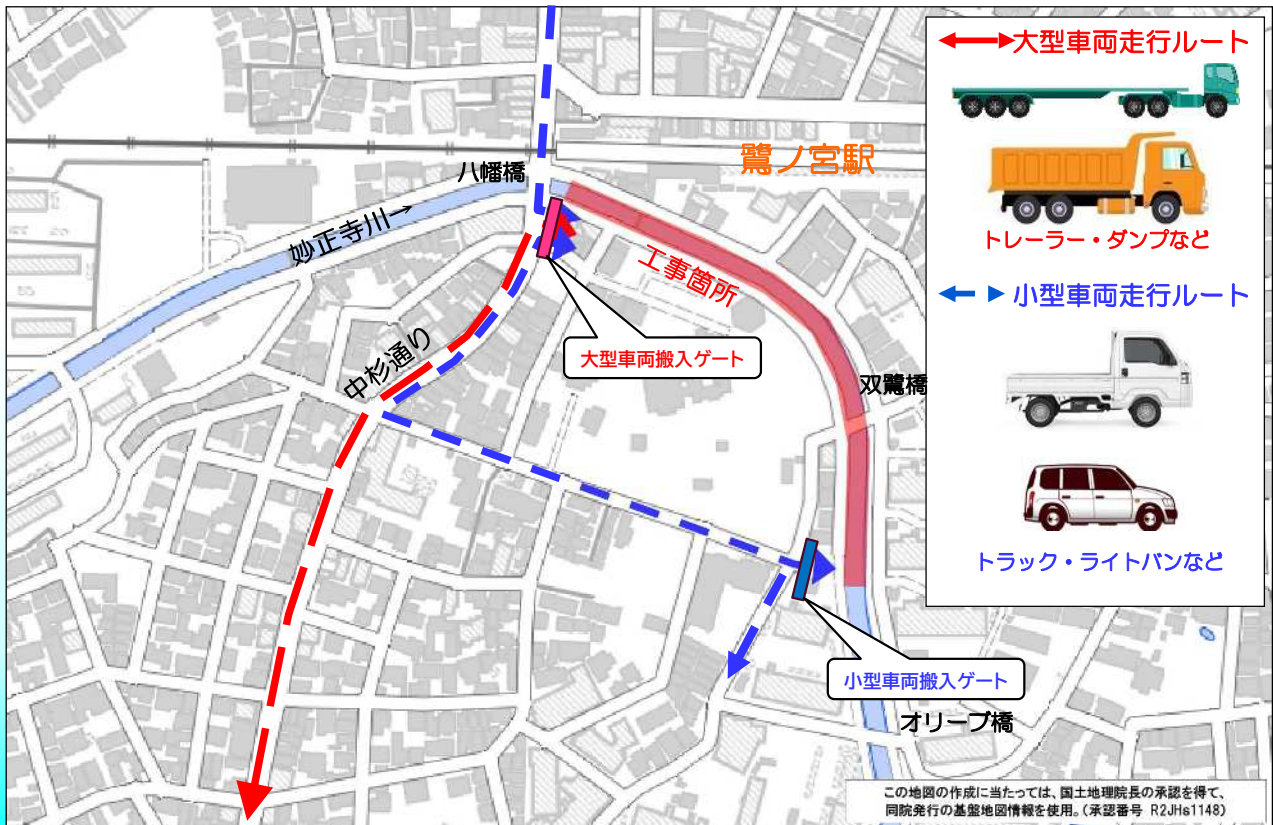
標準断面図



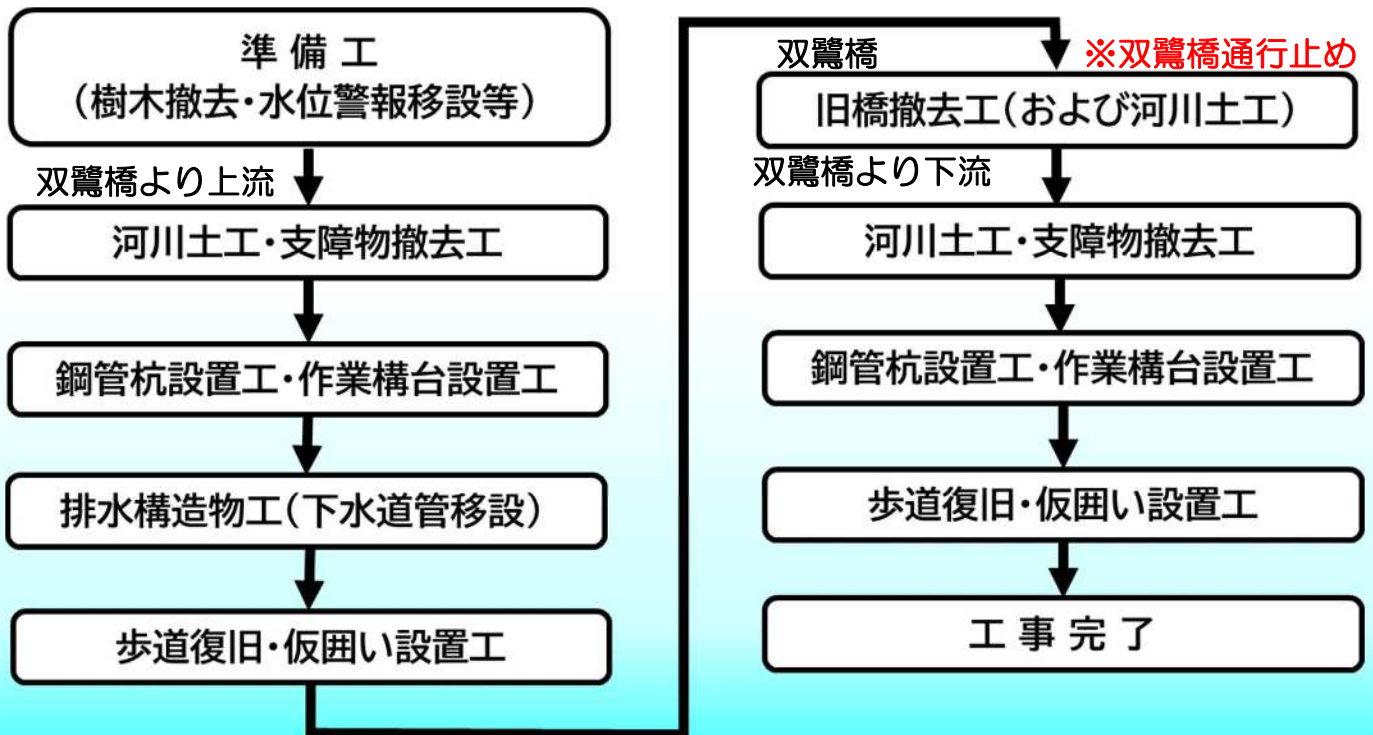
通行止め・幅員減少について



工事車両走行ルート

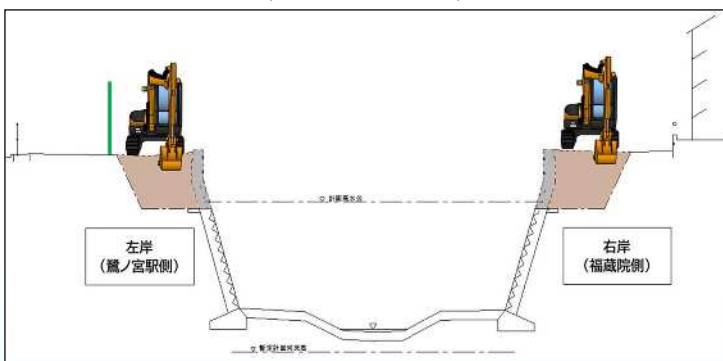


施工フロー



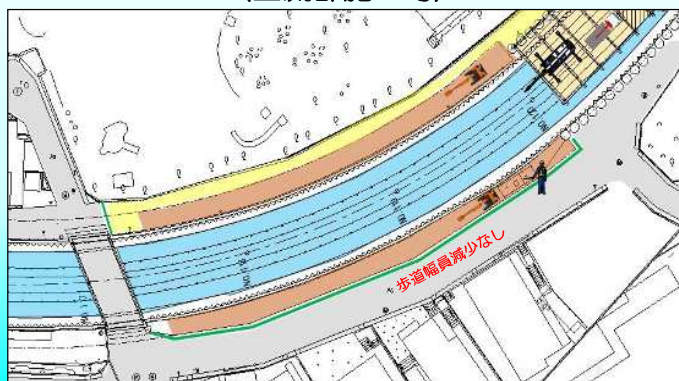
【河川土工・支障物撤去工】

〈施工イメージ〉

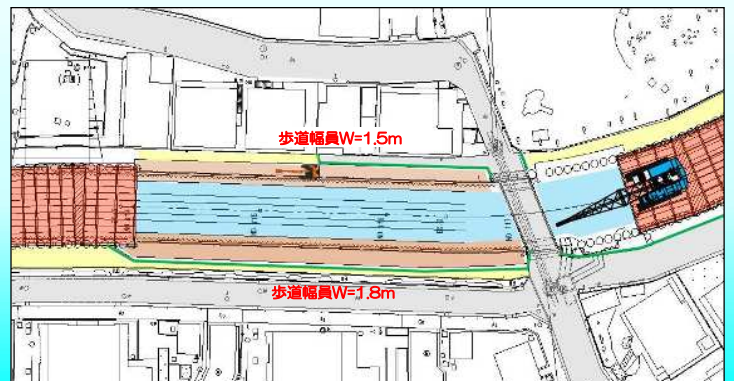


掘削・既設護岸（嵩上げ部）取壊し
 鋼管杭の圧入に先立ち、掘削：現地盤を掘る（茶色）・既設護岸（嵩上げ部）取壊し（灰色）を行います。

〈上流部施工時〉



〈下流部施工時〉

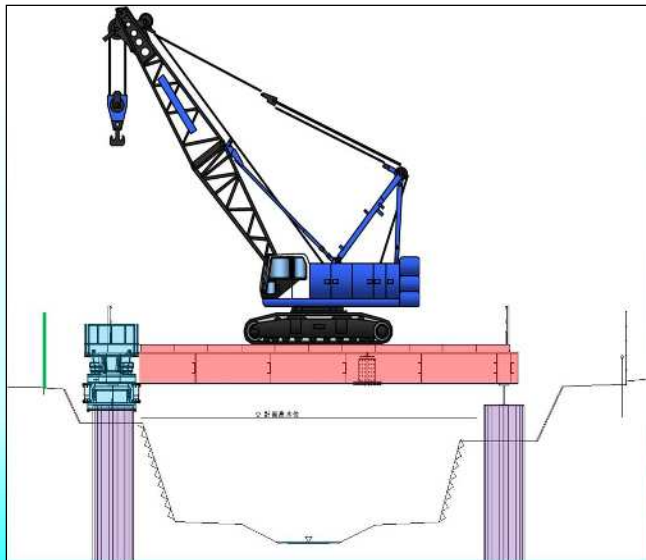


【鋼管杭設置工】

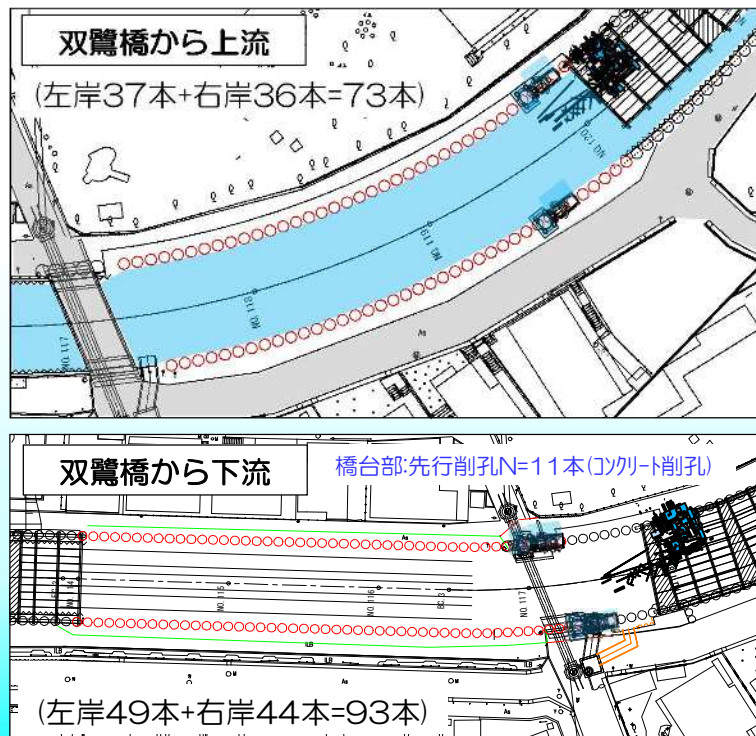
鋼管杭圧入

鋼管杭（紫色）を回転圧入機により回転させながら土中に埋めていきます。

〈施工イメージ〉



〈施工平面図〉



鋼管杭設置工（施工状況イメージ）

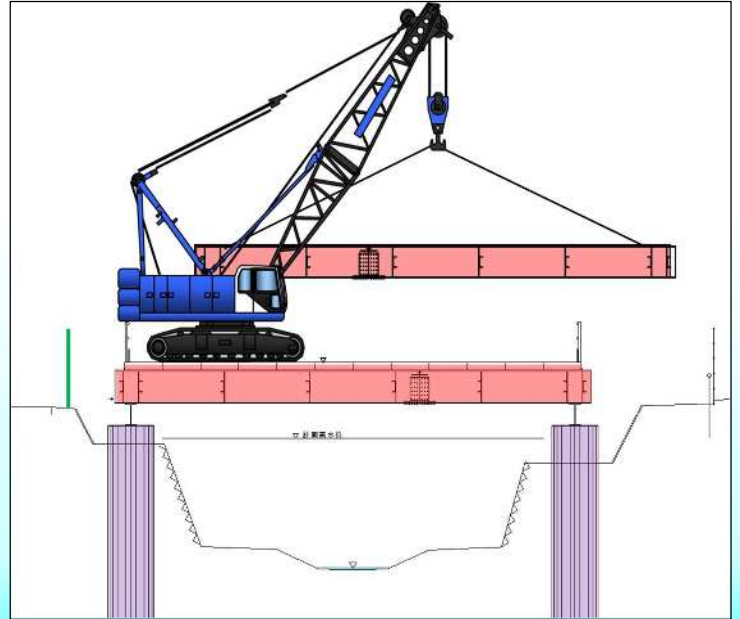


【作業構台設置工】

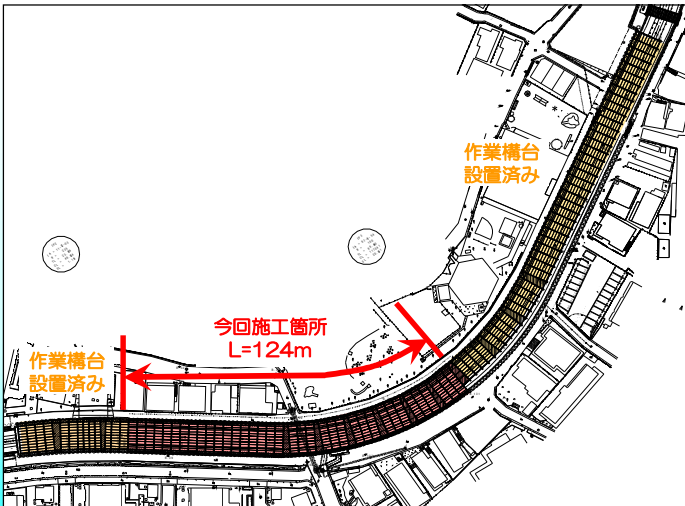
作業構台設置

土中に埋めた鋼管杭の上に、作業構台（赤色）を設置します。

〈施工イメージ〉



〈施工箇所平面図〉



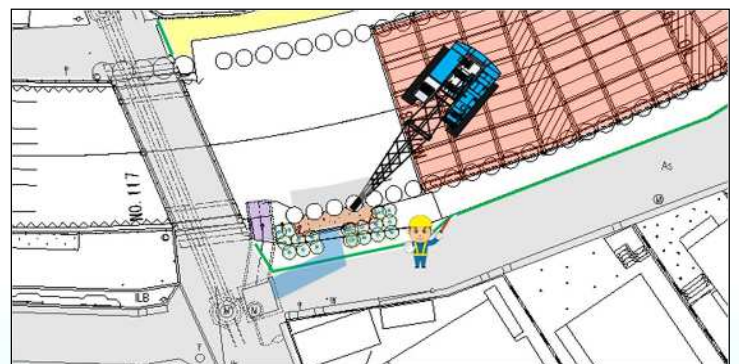
【排水構造物工(下水道管移設)】

下水管切り回しのための仮設

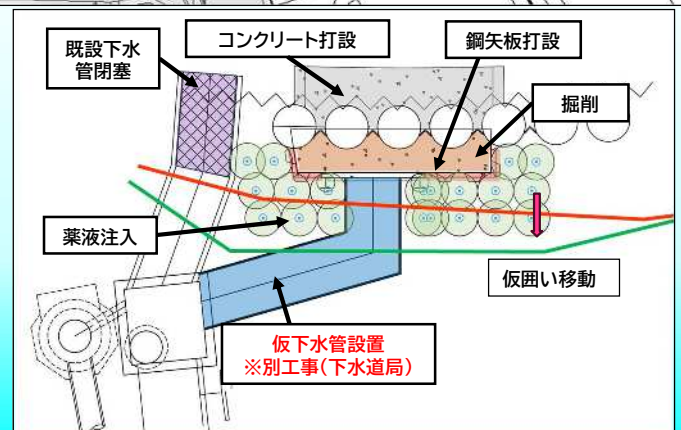
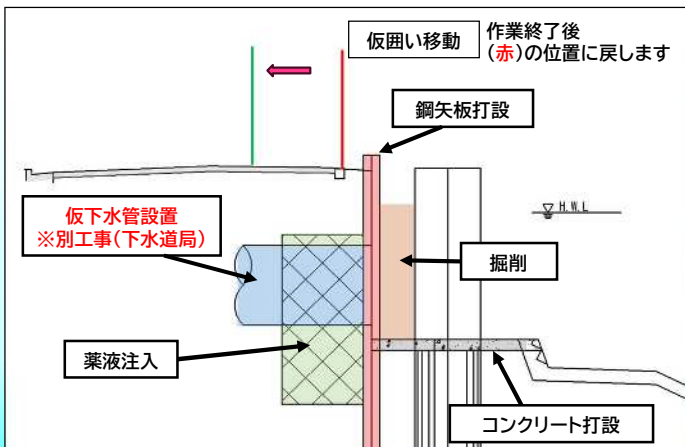
鋼管杭を圧入するにあたり、既設下水管の閉塞・取壊しが必要となります。

本工事では閉塞前に仮下水管（青色）を設置するための仮設を施工します。

〈施工イメージ〉



〈施工箇所断面図〉



※下水道管の移設工事は、下水道局が工事です。

【旧橋(双鷺橋)撤去工】

〈施工イメージ〉

双鷺橋通行止め・撤去

鋼管杭を圧入するにあたり、双鷺橋は撤去が必要となります。

双鷺橋は次工事で新しく設置されます。

双鷺橋撤去前に**双鷺橋は通行止め**とさせていただきます。

期間：令和7年10月頃

～令和11年3月(予定)

※通行止め前には予告看板・チラシ等にてお知らせ致します。

※通行止め開始から2週間は誘導員を**24時間体制**で配置し交通の混乱の無いように努めます。

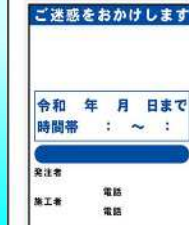


誘導員を配置し、通行車両に対し通行止めを呼び掛けます。

工事件名版

通行止め看板

誘導員配置



旧橋(双鷺橋)通行止め時の迂回路対応



通行止め予告看板



まわり道お知らせ看板



誘導員配置

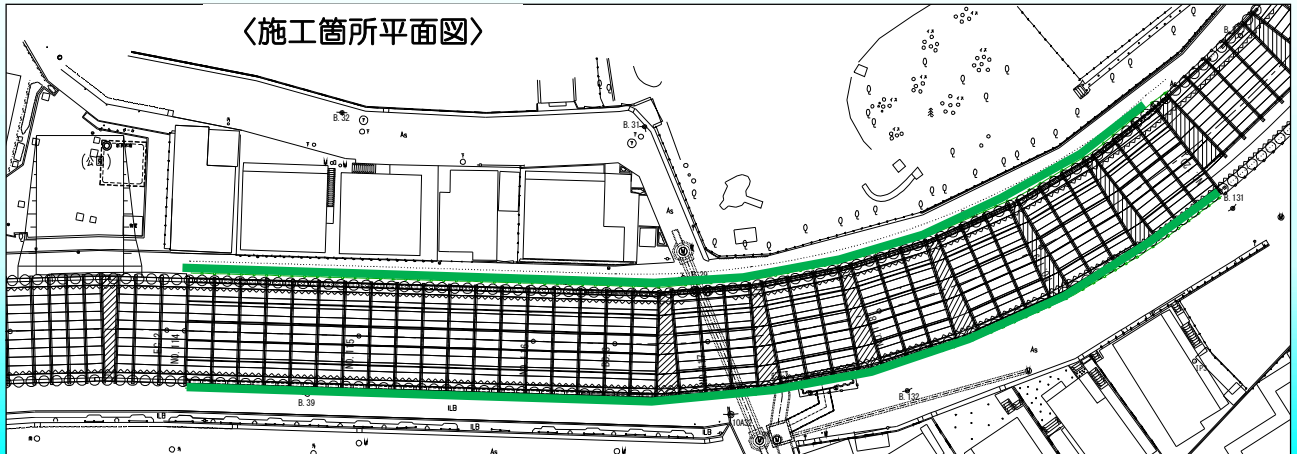
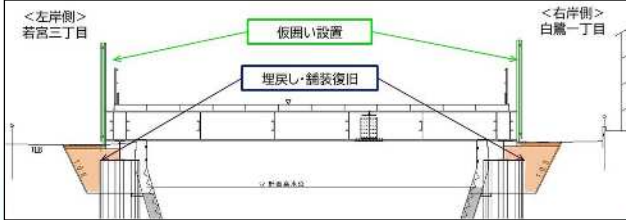


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用。(承認番号 R2Jhs1148)

【歩道復旧・仮囲い設置工】

鋼管杭を設置した後
埋戻し・舗装を行い、仮囲い(H=3.0m)
を設置します。

〈施工イメージ〉



P. 21

本工事の主な工事車両

使用機械		主な工種	使用時期(予定)	使用機械		主な工種	使用時期(予定)
バックホウ (0.05~0.2m3級)		樹木処理工 河川土工 支障物撤去工 排水構造物工	令和7年3月~令和8年7月	大型トラック (7t, 10t, 15t級)		河川土工 支障物撤去工 鋼管杭回転圧入工 作業構台組立	令和7年3月~令和8年7月
バックホウ (0.4m3級)		河川土工 支障物撤去 埋戻し工	令和7年10月~令和8年8月	低床トレーラー		鋼管杭回転圧入工 埋戻し工	令和7年5月~令和8年7月
4tダンプ		河川土工、支障物撤去工 排水構造物工 埋戻し工	令和7年3月~令和8年7月	ラフタークレーン (16t・25t・50t級)		河川土工、埋戻し工 植栽撤去工、排水構造物工 河川情報システム移設工	令和7年3月~令和8年7月
10tダンプ		河川土工 支障物撤去 埋戻し工	令和7年5月~令和8年7月	クローラークレーン (70t級)		鋼管杭回転圧入工 作業構台組立工 河川土工、支障物撤去工 旧橋撤去工	令和7年5月~令和8年7月
トラック (2~4t級)		樹木撤去工 河川土工 埋戻し工	令和7年3月~令和8年7月	ミキサー車 (4t, 10t級)		排水構造物工 既設護岸頭部 コンクリート打設工	令和7年9月~令和8年7月
ユニック (2.9~4.9t吊)		樹木撤去工 河川土工 支障物撤去工	令和7年3月~令和8年7月	コンクリートポンプ車 (4t級)		既設護岸頭部 コンクリート打設工	令和7年11月~令和8年7月

P. 22

工事に伴う環境への配慮

- ①場内待機車両・作業時以外のクレーンはエンジンを止めて**アイドリングストップ**を行います。
- ②使用重機は**低騒音型**、**振動型**を使用します。
- ③騒音の大きい機械は**防音シート**等で養生を行います。
- ④現場内に**振動騒音計**を設置し、基準値を超えないように管理します。
- ⑤軽油の抜き取り検査を行い、**不正軽油の混入防止**を行います。
- ⑥施工中工種ごとに観測井戸にて**水位・水質確認**し施工の影響がないか確認します。



P. 23

工事に伴う家屋調査と家屋損害賠償について

はじめに

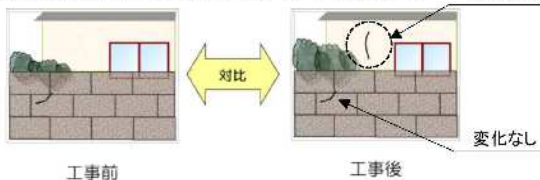
日頃より妙正寺川整箭事業にご理解、ご協力いただきありがとうございます。工事は、近隣家屋へ影響を及ぼさないように十分留意して進めて参ります。ここでは、工事に伴う家屋調査と損傷があった場合の損害賠償についてご案内させていただきます。

家屋調査とは

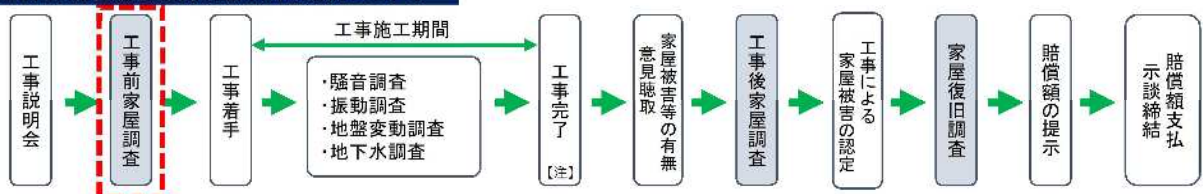
工事による近隣家屋への影響の有無について、正確に判断する資料を得るため、工事の着手前と完了後に家屋及び屋外の工作物を調査するものです。着手前と完了後の家屋内外の状態を比較し、工事が原因で被害が生じたことが確認された場合、家屋復旧調査を行った後、金銭にて賠償いたします。

【家屋への影響が想定される工事内容】

(例) 既設護岸取り壊し、鋼管杭入時の振動など



家屋調査・家屋損害賠償の標準的な流れについて



■ 家屋等の調査に伺います。

【注】工事の影響が複数の工事にまたがる場合には、影響する全ての工事が完了した時点となります。

家屋調査の内容

屋内：柱や床の傾斜測定、壁や建具等の状態把握（写真撮影含む）
屋外：壁や塀等の傾斜測定、土間や扉等の状態把握（写真撮影含む）



※撮影した写真を含む個人情報厳重に管理致します。

注意事項

- ① 調査を辞退された箇所は、損傷と工事の因果関係を立証することが出来なくなるため、ご自身で因果関係を証明して頂かない限り、賠償することができません。
- ② 工事前家屋調査～家屋復旧調査の間に家屋等の補修・外壁の塗装などを行う際には、事前にご連絡ください。確認が出来ないまま家屋の補修等が実施され、損傷と工事の因果関係を立証できなくなった場合には、賠償することができません。
- ③ 家屋損害賠償は、金銭による賠償となります。また、損害賠償額は、被害を認定した時点の単価を用いて統一した基準により算定します。

【問合せ先】東京第三建設事務所 工事第二課
工事に関すること 妙正寺川事業センター(03)3228-1419
家屋調査と損害賠償に関すること 工事担当(03)3387-2103

P. 24

お問い合わせ先

★妙正寺川整備工事全般に関すること

東京都第三建設事務所 工事第二課 設計総括担当

⇒電話 03-3387-5367

★妙正寺川整備工事（その204）に関すること

東京都第三建設事務所 妙正寺川事業センター

⇒電話 03-3228-1419

★妙正寺川整備工事（その204）の内容や施工方法等の詳細に関すること

受注者：大豊建設株式会社

⇒電話 03-6383-0270

ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解・ご協力お願い致します。